

## 基本目標Ⅲ スポーツによる賑わいとまちづくりの推進

## 推進項目

- (1) スポーツツーリズムの推進
- (2) スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生
- (3) ホストタウン登録におけるニュージーランドとの交流

## 1 湊酒田つや姫ハーフマラソン大会

・交流人口の拡大を目的としたスポーツツーリズムに取り組むため、「第 12 回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会」(令和 5 年 10 月 15 日)を開催。実施種目をハーフと 10 キロの 2 種目とし、全国 31 都道府県、1,122 人のエントリーをいただいた。



- ・前回大会と比較すると全体で 57 人増、市内の参加者は 90 人増となっており、市民の本大会に対する関心や健康に対する意識が向上していると考えられる。
- ・前回大会に引き続き、全日本実業団駅伝(ニューイヤー駅伝 2024)にも出場している埼玉医科大学グループのメンバー 12 名が 10km の部にエントリーするなど、トップ集団ではハイレベルな戦いが繰り広げられた。
- ・40 代・50 代の参加者が過半数いることから、働き世代のスポーツ活動の支援や女性のスポーツ参加支援の一助となっていると考えている。

## 【エントリー数】

1,122 人(男性 932 人、女性 190 人)

うち、県外参加者 469 人(全体の 41.8%、第 11 回大会 45.7%)

種目別／(ハーフ) 600 人 (10 km) 522 人

- ・「東京マラソン 2024」との一般提携大会として、今年もハーフの部の完走者の中から 3 名の選手を抽選し、推薦することができた。
- ・市民ボランティアの積極的な参加と地元企業の協力により、参加者と市民の一体感が回を重ねるごとに増し、酒田市ににぎわいを創出することができた。

## 【警備・給水所等ボランティアスタッフ】 540 人

- ・一般ボランティア(一般・企業・各協力団体等) 117 人
- ・酒田市陸上競技協会・高校生陸上部 100 人
- ・各地区体育振興会、酒田市スポーツ推進委員 162 人
- ・宮野浦体育振興会 70 人
- ・食生活改善推進協議会 20 人
- ・救護関係 35 人(酒田地区医師会・日本海総合病院・消防組合・SMART)
- ・市職員 21 人      ・元氣王国 15 人      ※他、警備員(委託契約) 97 人

- ・今大会のゲストランナーとして野々村 真さんを迎え（5 回目の参加）、ランナーや沿道で応援する方々と触れ合っていたいただき、大会を盛り上げていただいた。
- ・今大会では初の試みとして、文化庁の 100 年フードの認定を受けるとともに、令和 5 年 10 月開催の日本ご当地ラーメン総選挙で優勝した「酒田のラーメン」を、エイド（給水所）にてランナーへ提供した。
- ・今大会ではフィニッシュ後の「いも煮」の提供も復活し、つや姫おにぎりと共にランナーへ庄内の味を振る舞うことができた。



## 2 みなと酒田トライアスロンおしんレース大会

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年度から 4 年連続で中止（令和 6 年度大会も事務局の運営体制が整わないことから大会中止が決定）。

## 3 市民体育祭

- ・スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生を目的に「第 51 回酒田市民体育祭」（令和 5 年 7 月 2 日）を開催。新型コロナウイルス感染症の影響により 4 年ぶりの開催となったが、種目数を減らしての半日開催や従来の種目毎の年齢区分を極力なくす等、参加しやすい大会運営を検討し、延べ 1,260 人が市光ヶ丘陸上競技場を会場に競い合った。
- ・今年度で運動会形式としては最後の大会となったが、スポーツを通じた世代間交流や地域一体感の醸成のため、新たなイベントの開催を市体育振興会及び市スポーツ推進委員会で検討している。



### ●大会結果

順位	地区
1 位	松陵
2 位	宮野浦
3 位	十坂

## 4 市巡回駅伝競走大会

- ・大会の開催可否を検討するにあたり、各地区体育振興会長へ参加意向調査を実施した結果、1 部チームの参加予定数について大会開催の判断基準（1 部：10 地区以上の参加）を上回る 15 地区の参加意向があったことから、昨年度に引き続き計画通り大会を開催した。
- ・参加予定ではあったが、人が集められず不参加となった地区や、他市の選手を補充したため 2 部扱いで出場した地区もあり、最終的に 21 チーム（1 部：12 チーム、2 部：9 チーム）がエントリーした。
- ・酒田警察署や地区体育振興会等スタッフからの協力を頂きながら、大きな混乱やトラブルもなく安全安心に大会を運営することができた。

●大会結果

【1部】

順位	チーム名
1位	松山
2位	宮野浦
3位	松陵

【2部】

順位	チーム名
1位	上田
2位	ゆざC
3位	ゆざB

5 スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰（スポまち！長官表彰2023）の受賞

- ・スポーツを活用した「地方創生」「まちづくり」に積極的に取り組もうとしている自治体のアイデアをスポーツ庁長官が表彰する『スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰（スポまち！長官表彰）※』を酒田市のほか全国の25自治体が受賞し、令和5年11月10日に東京で開催された表彰式典で、矢口市長が室伏広治スポーツ庁長官から表彰を受けた。
- ・令和6年度は地域スポーツコミッションの設立に向けて、取り組みを検討していく。

◆計画書は別紙参照

※スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰／スポーツを活用した「地方創生」「まちづくり」に積極的に取り組もうとしている自治体のアイデアをスポーツ庁長官が表彰し、全国に広く知ってもらうためにスポーツ庁が令和3年に創設した制度で、今年度で3年目となる。

6 東京2020オリンピック・パラリンピックをきっかけとするニュージーランドとの交流

- ・共生社会の先進国であるニュージーランドから共生社会について学ぶ市民向け講座（令和6年2月3日）を実施した。東北公益文科大学教授の武田真理子氏をはじめ、現在ニュージーランドの共生社会について研究している同大学武田氏ゼミ所属学生から研究成果を発表してもらうとともに、参加者との意見交換を通じて共生社会について考えを深めた。

# プロスポーツチーム「アランマーレ」を核としたスポーツ健康ホームタウンづくり

スポまち！長官表彰2023  
③山形県酒田市



## <目標分野> ※該当するものに全て印

- ◎ ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ◎ ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ◎ ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

## <目標内容>

1. スポーツ大会等の誘致による交流人口の拡大、スポーツ資源を活用したビジネス創出による**地域経済の活性化**
2. アランマーレ選手等と交流し、アランマーレを応援する機会の創出による、ホームタウンとしての**シビックプライドの向上**
3. スポーツに親しみやすい環境づくり及び運動機会の創出による**市民の健康増進**

【数値目標】 ◆観光施設入込数 R4 237.5万人 → R9 350万人 ◆酒田市に住み続けたいと思う人の割合 R3 79.9% → R9 82.0%以上 ◆成人の運動実施率 R4 52.4% → R9 58.0%



## <PRポイント>

**アランマーレと酒田市民がともに活躍するまち**

女子バレーボールチーム「アランマーレ」の**公式試合観戦**に加え、図書館を活用したパブリックビューイング等で**応援機運の醸成**を図るほか、スポーツ大会等で必要となる**スポーツボランティアの育成**を図る

**いつでも・どこでも・だれでも楽しめるユニバーサルスポーツの普及**

「アランマーレ」の活躍でスポーツに興味を持った市民が気軽に親しめるスポーツとして、モルック、ポッチャ等の**ユニバーサルスポーツの普及**を図るとともに、モルックの**全国大会及び世界大会の誘致**を目指す

## <概要> 計画期間：～令和10年3月31日

現状・課題

●今後も人口減少が見込まれており、**新たな視点での交流人口の拡大や、新ビジネスの創出などによる地域活性化**が必要

●ホームタウンとして活動する「アランマーレ」をはじめとする**スポーツ資源を酒田市の魅力として最大限に活用**できていない

●各種スポーツイベントの参加者が固定化し、**スポーツ実施率が低い年齢層やスポーツ無関心層へのアプローチ**が必要

総合的な取組内容

### 地域経済の活性化

#### 1. スポーツを活用した交流拡大・ビジネス創出

- スポーツツーリズムコンテンツの開発
- 酒田市への大会・イベント誘致
- スポーツビジネスの創出
- 情報発信の強化



鳥海山・飛島ジオパーク、アウトドアスポーツ、美酒美食を活用したスポーツツーリズムの推進

### シビックプライドの向上

#### 2. アランマーレ選手等と交流しアランマーレを応援する機会の創出

- 公共施設・民間施設を活用したアランマーレ選手との**交流**、バレーボール公式試合の**パブリックビューイング**応援
- スポーツボランティア**の育成



駅前交流拠点施設ミライニ(市立中央図書館)

図書館を活用したアランマーレ公式試合パブリックビューイング▲

### 市民の健康増進

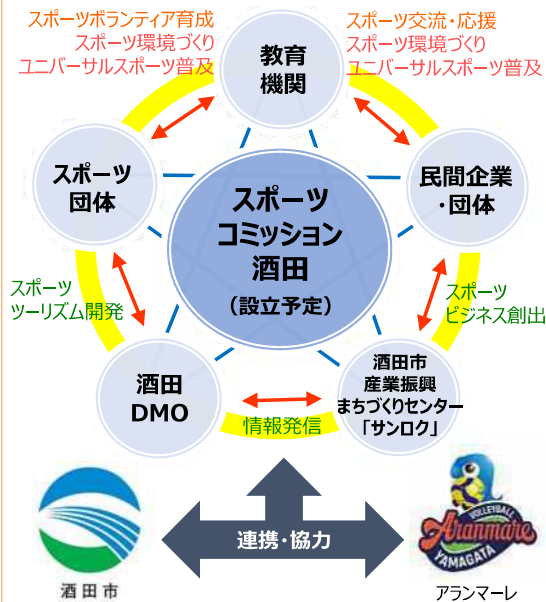
#### 3. スポーツに親しみやすい環境づくりと運動機会の創出

- アランマーレ選手と子育て中の親子との**運動交流**
- 公共施設・民間施設を活用した**スポーツ体験**、ライフステージに合わせた**健康づくり**
- モルック、ポッチャなどの**ユニバーサルスポーツ**の普及

図書館を活用したモルック体験会▶

**スポーツコミッション設立** スポーツ・観光・産業・教育等各団体及び酒田市とのスムーズな情報共有や連携による事業実施の実現

## <継続的な取組を確保できる体制(図)>



### 各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：教育委員会スポーツ振興課
- 地方スポーツ推進計画：酒田市スポーツ推進計画
- 地方版総合戦略：酒田市総合計画（後期計画）
- 地域スポーツコミッション：令和8年度設立予定（スポーツコミッション酒田（仮称））

### 【問合せ先・電話番号】

酒田市 企画部 企画調整課  
0234-26-5704



【フォローアップ欄】令和6年度以降における計画の進捗状況